
激務

茄子野郎

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

激務

【Nコード】

N4745Q

【作者名】

茄子野郎

【あらすじ】

激務の毎日。もう辞めたい。

「もう疲れた…心身ともに…」

私はもう疲れ果てていた。

おそらくあと30年以上も働かなくてはならないだろう。

もう辞めたい。けど辞めたら生活できなくなって死んでしまうし。どうすればいいんだ…。

毎日同じ事の繰り返し。ひっきりなしに他の部署から仕事がどんどん回ってくる。

おちおちボーっとすることもできない。

回ってくる仕事を別の部署に放り投げてやろうと思うときもあるが、

それをやったら瞬時に首になるのは確実だ。というか会社が倒産する。

社内で一番重大な仕事を任されている。そんなことはできない。転職は難しいだろうからさすがにこの部署は変わりたい。希望としては

最上階近くの色々な景色が見渡せる部署に異動したい。あそこは見晴らしがいいだろうし…。

仕事もあまりなさそうだ。色々と特典もあるに違いない。まあそんなこと言っても異動願いが通るわけは無いが…。

私の所属する部署は社内一の激務部署だ。

高層ビルのだいたい真ん中より上あたりに位置しているだろうか。

社内でももっと楽な部署はいくらでもあるのになんで私だけこんな激務部署なのだろう。

特に仕事という仕事もなく基本待機のような部署もあるのに。

もつともあそこはわが社の花形、会社のシンボリックな部署だからえらく人気が高い。

一日を通して何回か仕事量が膨大になる時間帯もあるようだけど、

まあそれでもうちの部署に比べれば楽だろう。

ほら、言ってるそばからまた仕事が回ってくる。

あれ…なんか今日はいつも以上に忙しい。

いつもはこんなに仕事まわりは早くないんだが…

通常よりスピーディーに仕事をしなくては。

しかし、なぜだ？他の部署で何かあったのだろうか。

電話が鳴った。

「もしもし？」

「おい！何で今日こんなに膨大な量の仕事来るんだ！？おかしいじゃねえか！

おかげでこっちの予定はパンパンだ、どうしてくれる！」

例の花形部署から苦情が入った。

さらに他の高層にある2つの同じ部署やすぐ下の情報発信部からも苦情が入った。

「お、おい。二つの部署ともにトラブルで皆荒くなってる。何が起きたんだ？」

「なんかトラブルか？うちの部署は皆ヤバイヤバイ騒いでる。

重大事故？何があった？」

そんなこと言っただけでこっちが知りたい。あー、面倒くさい。辞めたい…。

例え何かあったってこっちのやることは同じなんだから…

とりあえず確認の電話を試みることにした。

「もしもし、今日の仕事量どこの部署もいつもの倍みたいですけど何かあったんですか？」

特に花形の部署は仕事が膨れ上がってるらしいです。」

すると最上階近くの景色が見渡せる部署から即座に返答があった。

「これも司令部からの命令だから…仕方ないんです…。」

今、む、向かいの美人社員の子のパンツがチラッと見え隠れしてるんですよ…

眼球の仕事も結構大変なんですよね。あんまり見たくないんですけどねっ。

いつもドクドクと本当にご苦労様です、心臓さん」

やっぱり諦めずに異動願いを出し続けようと思う。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4745q/>

激務

2011年2月1日14時35分発行